

平成30年7月17日

平成30年度第4回教育委員会定例会会議録

鹿児島県教育委員会

議 決 事 項

件 名	提 案 理 由	審議の状況	採決の次第
<p>議案第1号 鹿児島県スポーツ推進審議会委員の任命について</p>	<p>鹿児島県スポーツ推進審議会委員の4人の辞任に伴い、その後任を任命しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>決 定</p>
<p>議案第2号 鹿児島県社会教育委員の委嘱について</p>	<p>鹿児島県社会教育委員の任期満了に伴い、時期の委員を委嘱しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>決 定</p>

会 議 要 旨

1 開会

2 会議の公開等について

議案第1号及び議案第2号については、非公開で審議する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

3 平成30年度第3回教育委員会定例会の会議録の承認

承 認

4 その他

(1) 公立学校のブロック塀の調査結果について

(学校施設課長) 県立学校及び市町村立学校のブロック塀の安全性に関する緊急調査結果について説明

(島津委員) 調査した結果、劣化損傷や耐震構造に問題がある学校もあるようだが、今後、県立学校などは、詳細な調査を実施するのか。

(学校施設課長) 県立学校については、現在、学校施設課の職員が学校現場で確認しているところである。その結果に基づいて、今後の対策について検討する必要がある。

ただし、県立学校に対しても、市町村立学校に対しても、安全性に問題のある個所が明らかになったので、安全対策をとるように指示してある。

(島津委員) 学校のブロック塀は県で対応できるが、通学路上のブロック塀については、県が直接対応するのは難しいと思う。この辺についてはどのように調査するのか。

(保健体育課長) 通学路におけるブロック塀については、県土木部建築課からの依頼を受け、市町村教育委員会に対して、市町村の窓口相談するよう通知を出している。点検については、まだ具体的な通知等を受けていない。

(島津委員) 今までの通学路をそのまま歩いていく状況なのか。

(保健体育課長) 大阪北部地震を受け、それぞれの学校の通学路の点検を行うよう通知をしているので、安全でないと思われる通学路があれば、そこを避けて通学するよう学校で対応している。

(島津委員) できるだけその辺を含めて、安全対策をとれるようにしていただきたい。

(今村委員) 今回、ブロック塀で問題のあるところは、すぐ撤去されたと報道されていた。大阪教育大学附属池田小学校事件では、学校自体が開かれていたので、その対策として、外部の者が入れないように、ブロック塀を設けたところもあるのかもしれない。そのように考えたとき、今後、ブロック塀の問題だけで済むのか、その辺の問題が絡んでくるのか。

また、学校は歴史的建造物だったところに結構建てられている。ブロック塀でなく、石垣の部分は対象外なのか。歴史的建造物であるような石垣は簡単に撤去できないという問題も出てくるのか。

(保健体育課長) 大阪教育大学附属池田小学校事件以降、門扉のない学校ではロープを張って対応している。ブロック塀に代わるものについては、今後、学校の設置者である市町村で判断して対応されると考えている。

(学校施設課長) 今回調査したブロック塀は、鉄筋が入っており、耐震構造になっていることを前提としている。石を積み上げたものは、組積造に当たり、建築基準法では1.2メートル以内とされているので、1.2メートルを超えるものは撤去することになる。

(今村委員) 文化財の場合は、どのようになるのか。そもそも、そのようなところはないのか。

(文化財課長) 国の登録有形文化財になっている場合、例えば、小学校で一部正門が文化財になっているところもある。そこについては、学校とも確認をとれるようにする。

(原之園委員) 安全点検の在り方も変わらなければならないと思う。今回、ブロックの構造に問題があったが、鹿児島県下の学校における安全点検の改善については、いかがか。

(学校施設課長) 市町村については、今後、改めて文部科学省から考えが示されると思う。県立学校については、3年に1回、建築基準法に基づく法定点検をしており、その中でブロック塀も調査することになっている。今回、目視で確認することはできるが、鉄筋が入っているか、間隔が合っているかについては、専用の機械がないと点検ができない。学校施設課においては、今回、専用の機械を購入し、県立学校の内部構造が適正かどうか点検を始めたところであり、順次進めてまいりたいと考えている。

(2) 平成31年度使用教科書採択事務について

(高校教育課長) 平成31年度使用教科書採択事務の概要、事務の流れ等について説明

(島津委員) 採択は何年ごとにされるのか。

(高校教育課長) 採択は毎年行う。中には1年生から3年生まで通して使う教科書もあるが、基本的には、新入生用も含め、毎年採択している。

(3) 教育改革推進プロジェクトチームについて

(高校教育課長) 教育改革推進プロジェクトチームの目的、組織、これまでの議論の経過と今後の予定等について説明

(島津委員) 新しい教育改革が進められている中、このような形でプロジェクトチームを立ち上げるのは良いことである。

今度の改革の中でも、英語教育が重要になっているが、その辺の部分は盛り込まれているのか。

(高校教育課長) 3つのワーキンググループの中で関連しているのは、入学者選抜改革ワーキンググループである。大学入試では、4技能を測る取組がなされるが、それを高校入試ではどのように導入できるのか。あるいは、小中学校での取組がどのように高校の取組につながるのかということも、この中で検討されることになる。

また、英語については、探究活動ワーキンググループのところにもSGHを入れているが、その中でも検討されると考えている。

(島津委員) プロジェクトチームとワーキンググループで検討されるが、最終まとめは、どのような形を想定されているのか。

(高校教育課長) 入学者選抜については、検討された内容を委員の皆様にお諮りして決めていくことになる。

ワーキンググループで出た意見を、プロジェクトチームで整理させていただいて、然るべき時期に保護者や生徒、中学校に示す必要があると考えている。

他のワーキンググループにおいても、検討事項や協議内容については、文書の形で報告することになると考えている。

(原之園委員) 次年度以降の計画については、どのように行っていくのか。

また、県総合教育センターで行っているような中間発表は行うのか。

(高校教育課長) 高校では、平成34年度から新学習指導要領が実施されるが、大学入学共通テストでは平成33年1月からの実施である。今年度はワーキンググループを3回開催する予定であるので、その仕上がり具合を見ながら、次年度以降どのくらい深める必要があるのか検討していきたい。

(4) 地域創生人材育成プロジェクトについて

(高校教育課長) 地域創生人材育成プロジェクトの目的、事業のスケジュール、指定校、プラン内容等について説明

(島津委員) 地域創生人材育成プロジェクトは、生徒にとっても、これに選ばれることによって意識が非常に高まるので、良い取組である。
山川高校はソラマメを題材にしているが、鹿児島大学の教授でソラマメが健康に非常に良いという研究をされている方がいらっしゃるのので、連携先に鹿児島大学も入れていただくとよい。

(高校教育課長) 連携先に鹿児島大学が入っていないので、高等教育機関等との連携として入れるよう考えたい。

(島津委員) 教授は、鹿児島産の農産物と健康について研究しているので、ぜひ連携していただくとよい。

(高校教育課長) 山川高校にもお知らせしたい。

(島津委員) このプロジェクトは単年度事業であるが、どのように広げるのか。昨年の取組をした結果を今年どのような形で活用するのか。

(高校教育課長) 昨年指定した4校については、合同で成果発表を実施できないかという御意見をいただいたが、実現できなかった。それぞれの学校が1年間の取組を次年度以降どのように継続させていけるのか検討させていただきたい。

(原之園委員) 高校生が地域の方々と一緒に鹿児島の将来を考えて頑張っているのので、県の方でも広報活動などの支援をお願いしたい。

(高校教育課長) マスコミ等への広報については、5月の終わりに鹿児島南高校にKTSから取材があった。各学校で自ら取組を発信する動きが始まったところである。
県教育委員会としても、支援の在り方を工夫していきたいと考えている。

(5) 平成31年度鹿児島県公立学校教員等採用選考試験（一次試験）の実施状況について

(教職員課長) 平成31年度鹿児島県公立学校教員等採用選考試験（一次試験）の出願者数等の状況、試験の内容、今後の日程等について説明

(島津委員) 受験倍率について、3年前は10倍を超えていたが、今回は6.1倍であり、人手不足感が感じられる。Ⅱ区分での採用という形をとられているが、長い目で見ると、課題として考えなければならない。

(教職員課長) 九州管内全てで減少傾向にあるので、確保については努力しなければならないと考えている。
3年前の倍率は11.2倍であり、小学校の採用は75人が合格して

いたが、今年を受験者数が減少し、採用数が増加したため、倍率が下がった。

平成24年度から鹿児島県全体の受験者数としては、少しずつ減少している。平成23年度の出願者数は3,408人であったが、それを境に減少しており、今年、昨年度より、小学校で受験者が63人減少し、教員全体で213人減少した。今後も採用数が増える可能性も考慮し、しっかり確保してまいりたい。

5 議案

議案第1号 鹿児島県スポーツ推進審議会委員の任命について
(非公開)

議案第2号 鹿児島県社会教育委員の委嘱について
(非公開)

6 閉会